

家庭科（家庭基礎） 学習指導案（例）

日 時	平成〇〇年〇月〇日（〇）第〇校時
学 年 ・ 組	普通科 第〇学年〇組（男子〇名、女子〇名）
使用教科書	「〇〇（教科書名）」（〇〇出版社（出版社名））
指 導 者	〇〇高等学校 教諭 〇 〇 〇 〇

1 単元名 「消費者として自立する」

2 単元の目標

- ① 自分が一消費者であることを認識するとともに、社会との関わりについて理解する。
- ② 契約社会における取引のルールを理解し、適切な消費行動がとれるようにする。
- ③ 自分の将来を見通しながら、消費者として自立していかうとする能力を養う。
- ④ 消費者として自立する能力としての家庭経済の管理の技術を身に付ける。

3 単元の指導観

(1) 生徒の実態

食分野に関する興味・関心は高いが、消費分野に関する興味・関心は低い傾向である。多くの生徒は授業に集中して取り組むことができ、また、ポイントを絞った授業ノートを作ることもできる。しかし、発言や発表などには消極的であり、全体的におとなしい印象を受ける。

(2) 指導の方針

現代の生活において、お金は必要不可欠なものである。しかし、お金は手段であって目的ではない。お金の生活を支配されないためにも、自分自身の生活の中でお金の位置付けを行うことが必要となる。卒業後すぐに自立していく生徒の多い本校において、自分自身の経済生活について考えることを通して、生き方そのものを考えさせたい。また、経済社会とのつながりを意識させながら、現実的なレベルで家計を考えることにつなげていきたい。この時期に消費者として自立する力を付けることで、自信をもって自分の将来を見通した経済計画を立て、消費行動がとれるようにしたい。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
- 自分が一消費者であることを踏まえて、財・サービスの購入の在り方や、消費行動、消費と環境の関わりについて考えようとしている。 - 国民経済の仕組みと家計の特徴を踏まえて、自身の経済計画について考えようとしている。	- 消費行動における主体的な意思決定について考え、まとめたり、発表したりしている。 - 経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・貯蓄などについて考えている。	財・サービスの選択に際し、様々な生活情報を収集・整理することができる。	- 家計と経済社会との関わりを理解している。 - 生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。 - 消費行動における意思決定の重要性を理解している。 - 消費者問題について理解している。 - 自立した消費行動のための支援について理解している。

5 単元の指導計画及び評価計画（7時間）

時	学習内容	評価の観点				評価規準・評価方法
		関	思	技	知	
1	【社会保障と保険】 ○生活を支える社会保障 ○リスクに備える				●	人生の中で起こり得る危機（リスク）を予想し、それに備えるための準備の必要性を理解している。（観察）（ペーパーテスト）
2	【経済的に自立する】 ○経済から見た暮らし ○家計とその特徴			●	●	- 経済の仕組みを踏まえて、ライフステージと生活費の関わりについて理解している。（観察）（ペーパーテスト） - 自己の生活にあった家計管理の方法を考え、まとめたり発表したりしている。（ワークシート）（観察）
3	【主体的な消費行動と契約】 ○「買う」ことは「契約」 ○主体的な消費行動	●		●		- 欲しい品物の情報を収集し、整理することができる。（ワークシート）（観察） - ロールプレイを通して、消費行動について意欲的に考えようとしている。（観察）（ワークシート）
4	【多様化する販売方法と問題商法】 ○無店舗販売の増加と問題商法 ○通信販売とインターネット	●			●	- ロールプレイを通して、トラブルへの対処法及び予防法を意欲的に考えようとしている。（観察） - トラブルへの対処法及び予防法について理解している。（観察）（ペーパーテスト）
	【支払い方法の多様化と消費者信用】					

5	○支払い方法の多様化 ○多重債務に陥らないために		●	●	●	・様々な支払い方法とその仕組みについて理解している。 (観察) (ペーパーテスト) ・消費者信用の金利の計算を通して、借金することについて確認し、その利用について考え、まとめたり、発表したりしている。 (観察) (ワークシート)
6	【消費者の権利と責任】 ○消費者の権利を守るために ○これからの消費者		●		●	・消費者を守る法律や機関があることを理解している。 (観察) (ペーパーテスト) ・消費者が協力し連携することが、事業者や行政を動かす力になることを知り、自分に何ができるのかを考え、まとめたり、発表したりしている。 (観察) (ワークシート)
7 (本時)	【消費者として自立する】 ○生涯を見通した経済計画	●			●	・生涯を見通した経済計画の必要性を理解している。 (観察) (ワークシート) (ペーパーテスト) ・自身の経済計画の必要性に関心をもち、具体的に考えている。 (観察) (ワークシート)

6 本時の指導計画

- (1) 題 目 消費者として自立する
(2) 目 標 ・生涯を見通した経済計画の必要性を理解する。【知識・理解】
・自身の経済計画の必要性に関心をもち、具体的に考える。【関心・意欲・態度】
(3) 準備物 車の広告、自動車保険のリーフレット、ワークシート
(4) 本時の展開 (7時間のうちの第7時)

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価〔評価方法〕
導入 5分	・本時の学習内容の確認	・本時の学習内容を確認する。	・ホワイトボードに整理しておく。 ・消費経済分野の学習のまとめとして、自動車購入のプロセスをたどっていくことを伝える。	
展開 40分	・私の乗りたい車 ・意見発表 ・購入に向けて ○費用 ○維持費 ○自動車保険 ・車の購入と生活設計 ・自身の消費行動の評価	・自分が乗ってみたい車をイメージする。 ・選んだ車及びその理由を発表する。 ・自動車購入に必要な費用を知る。 ・自動車保険の仕組みを知る。 ・支払いにローンを組むこととし、日々の生活費からこのローンが引き落とされていくことを想定する。 ・今後の自身の生活費から自動車購入資金を用意することを想像する。 ・ここまでの自動車購入に関する自身の消費行動を評価する。	・車の広告などを利用して、乗りたい車を選ばせる。その際、何を重視して選択したかその理由をまとめさせる。 〔車の広告、ワークシート〕 ・用途、デザイン、安全性、機能、環境への配慮など、車選びのポイントは多種多様であることに気付かせる。 ・広告等に掲載されている車両本体価格に加えて、税金や自賠責保険などの費用が上乗せされることを知らせる。 〔車の広告、ワークシート〕 ・自動車事故で想定されるリスクを考えさせ、保険に加入することの大切さを知らせる。 ・ローンは簡単に組めるが、実際に支払っていくことの大変さや、生涯を見通した経済計画の必要性について考えさせる。 ・自分のライフスタイルに合わせて収入、支出、貯蓄の計画を立てることの大切さを知らせる。 ・自動車購入のプロセスを振り返り、項目ごとに理解できたか自己評価させる。	○生涯を見通した経済計画の必要性を理解している。 【知識・理解】 〔観察、ワークシート、ペーパーテスト〕 ○自動車購入シミュレーションに積極的に取り組んでいる。 【関心・意欲・態度】 〔観察、ワークシート〕
まとめ 5分	・本時のまとめ ・次時の学習内容	・本時の学習の確認をする。 ・次時の学習内容を確認する。	・本日の授業から、自立した消費者として、生涯を見通しながら高額な買い物ができる力がついたことに自信をもって生活していくて欲しいことを伝える。 ・消費経済分野から食生活分野の学習になることを知らせる。	